

2020年3月期 第3四半期

# 決算説明会資料

---

株式会社インターワークス（東証一部 6032）

2020年02月03日



1

**2020年3月期 第3四半期 業績概要**

2

**2020年3月期 第3四半期 セグメント別概況**

3

**2020年3月期 通期見通し**

4

**Appendix**

# 1-1 2020年3月期 第3四半期 業績概要

- ✓ 営業損失が上期実績の△24百万円から11百万円改善し、△13百万円
- ✓ 回復傾向にあるものの、前年同期比で減収減益

(単位：百万円)

	2019年3月期 第3四半期累計		2020年3月期 第3四半期累計		増減額	前年 同期比
	実績	売上比	実績	売上比		
売上高	2,902	100.0%	2,341	100.0%	△ 560	80.7%
売上原価	879	30.3%	798	34.1%	△ 80	90.9%
売上総利益	2,022	69.7%	1,543	65.9%	△ 479	76.3%
販売費及び一般管理費	1,712	59.0%	1,556	66.4%	△ 156	90.9%
営業利益	310	10.7%	△ 13	△ 0.6%	△ 323	-
経常利益	316	10.9%	△ 15	△ 0.7%	△ 332	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	208	7.2%	△ 42	△ 1.8%	△ 251	-

1

2020年3月期 第3四半期 業績概要

2

2020年3月期 第3四半期 セグメント別概況

3

2020年3月期 通期見通し

4

Appendix

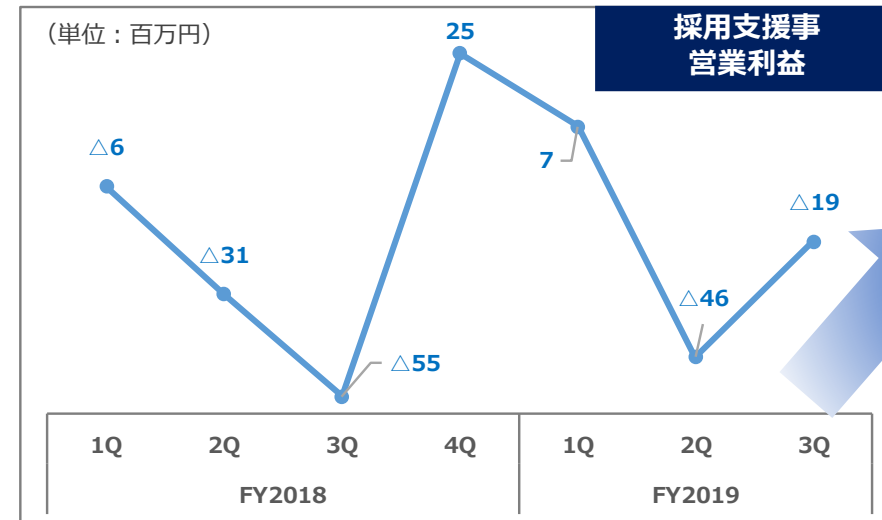
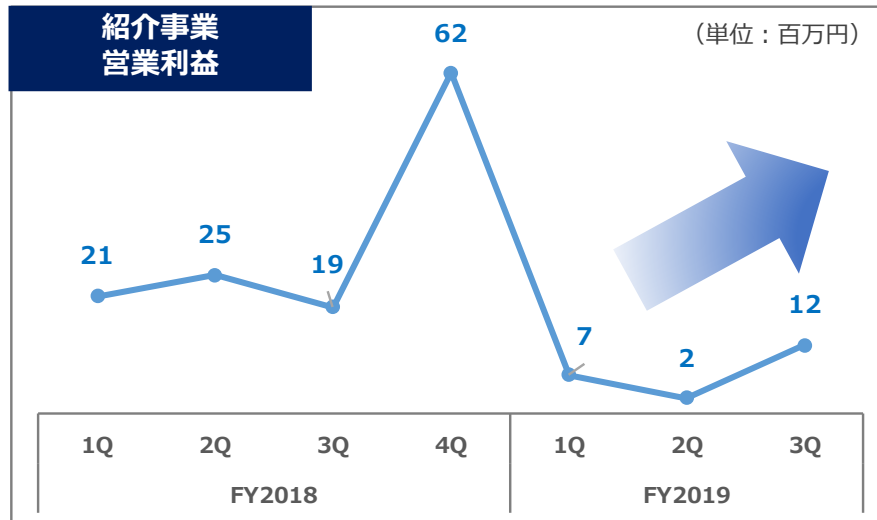
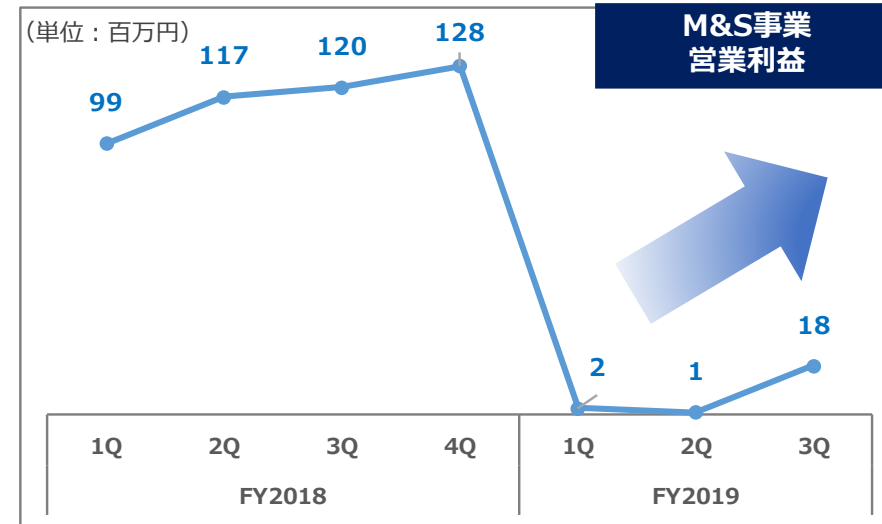
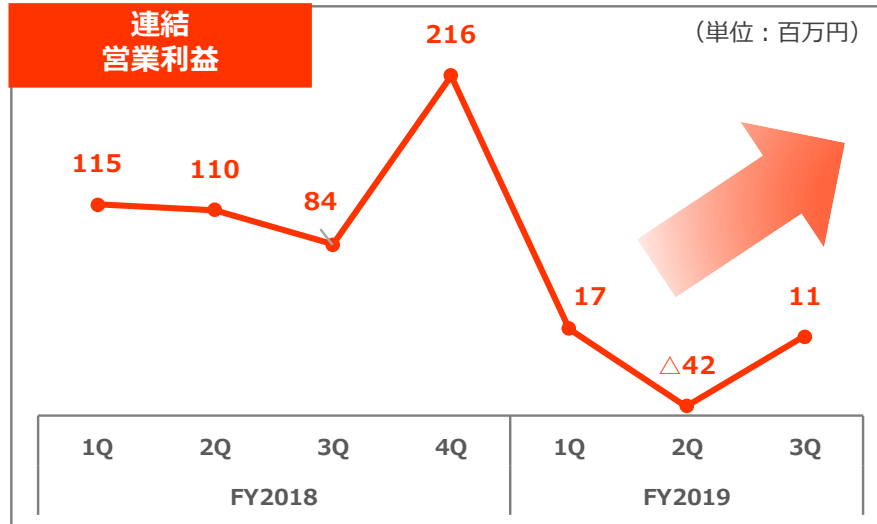
✓ 主力であるM&S事業の減収減益幅が大きい

(単位：百万円)

		2019年3月期 第3四半期累計		2020年3月期 第3四半期累計		増減額	前年 同期比
		実績	構成比	実績	構成比		
売上高	連結	2,902	100.0%	2,341	100.0%	△ 560	80.7%
	M&S事業	1,466	50.5%	1,063	45.4%	△ 402	72.5%
	人材紹介事業	787	27.1%	693	29.6%	△ 93	88.2%
	採用支援事業	649	22.4%	584	25.0%	△ 64	90.1%
営業利益	連結	310	100.0%	△ 13	100.0%	△ 323	-
	M&S事業	337	108.7%	21	-	△ 315	6.5%
	人材紹介事業	66	21.4%	22	-	△ 44	33.8%
	採用支援事業	△ 93	△ 30.2%	△ 57	-	36	-

## 2-2 四半期業績推移 (セグメント別)

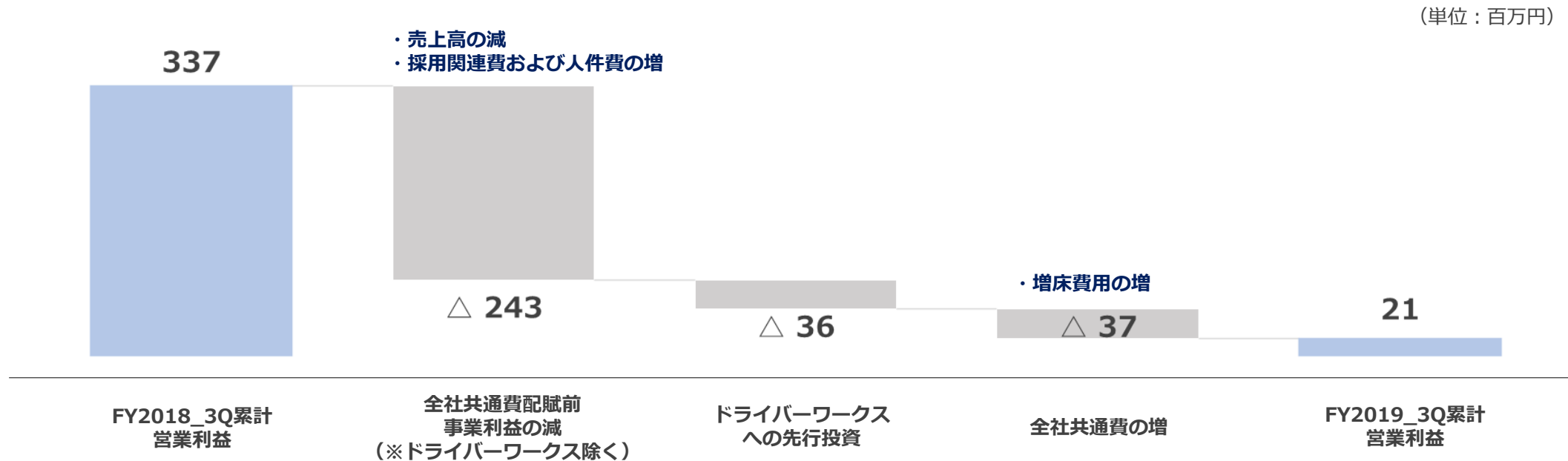
✓ 四半期ごとの推移では各事業とも営業利益が回復傾向



✓ 外部環境の悪化に伴う売上減、および持続的成長のための戦略投資、ドライバーワークスへの先行投資、増床費用の増により減益

単位：百万円		FY2018_3Q累計	FY2019_3Q累計	増減額	前年同期比
M&S事業	売上高	1,466	1,063	△ 402	72.5%
	営業利益	337	21	△ 315	6.5%

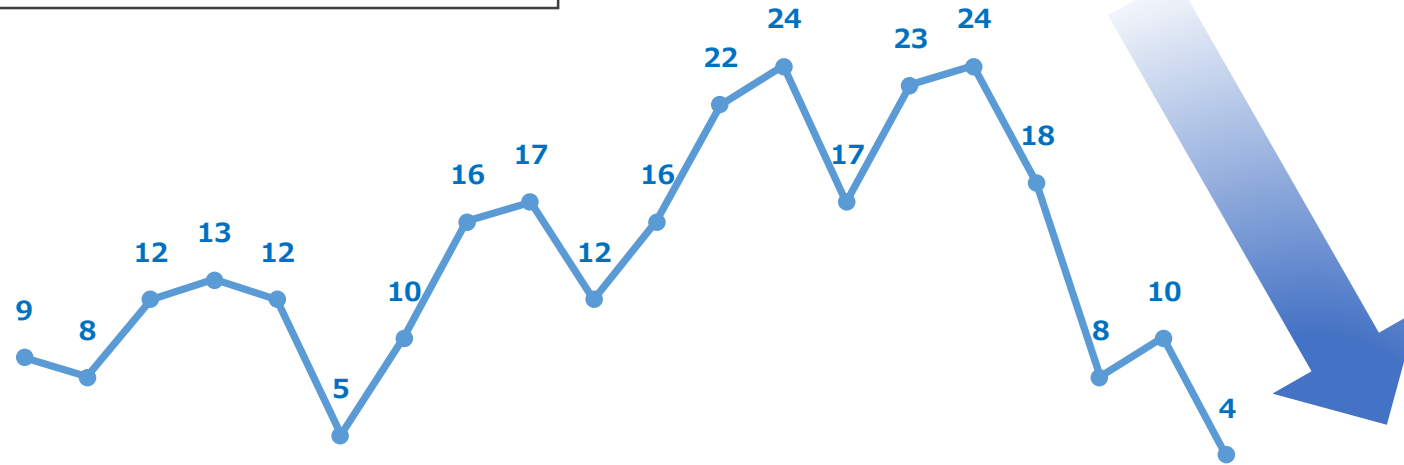
## ➤ 営業利益について



✓ 製造業における「派遣労働者」の過不足状況DIは大きく減少  
 →工場ワークスの主要顧客である製造派遣会社を取り巻く環境が悪化している

## ➤ 製造業における、派遣労働者の過不足状況DI

DI: 「不足 (%)」 - 「過剰 (%)」



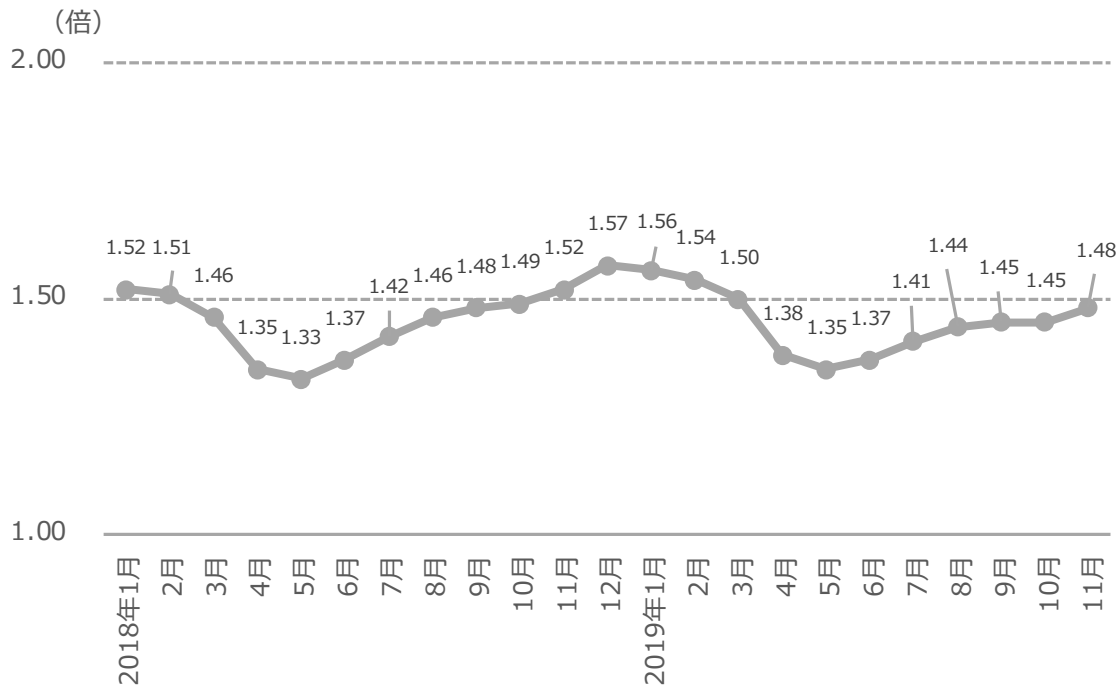
2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月	2月	5月	8月	11月
2015年				2016年				2017年				2018年				2019年			

出典：厚生労働省「労働経済動向調査」を元に当社作成

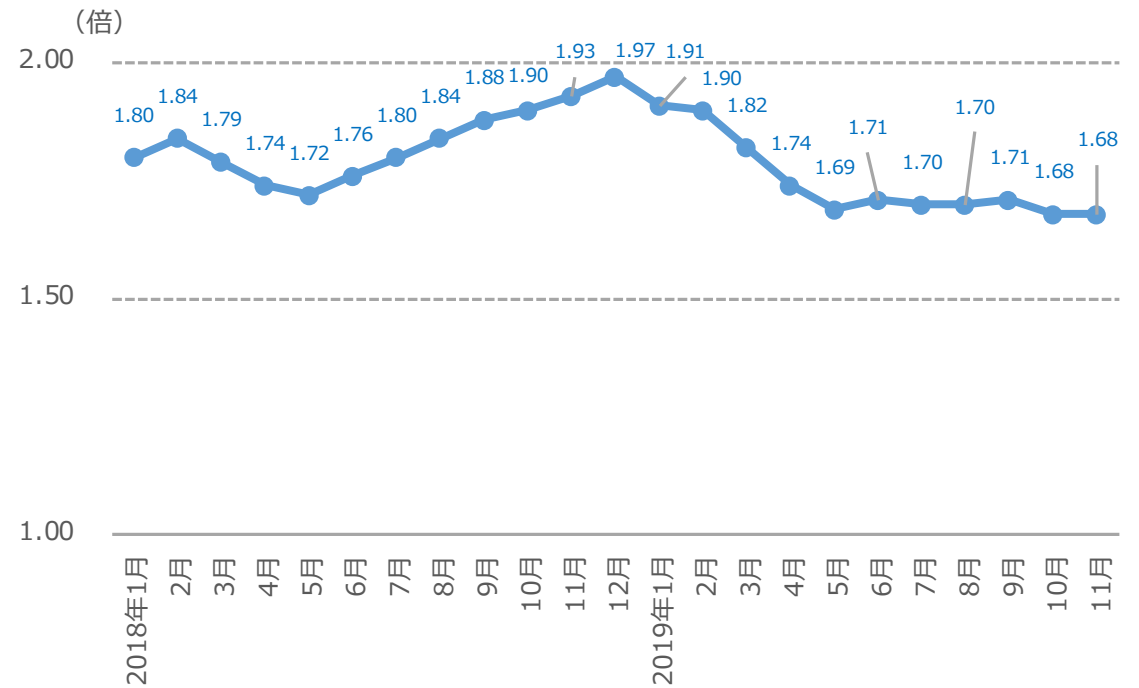


✓ 生産工程の職業の有効求人倍率は、職業計よりも一貫して高い水準を維持  
→人材需要は底堅い

## ➤ 職業計



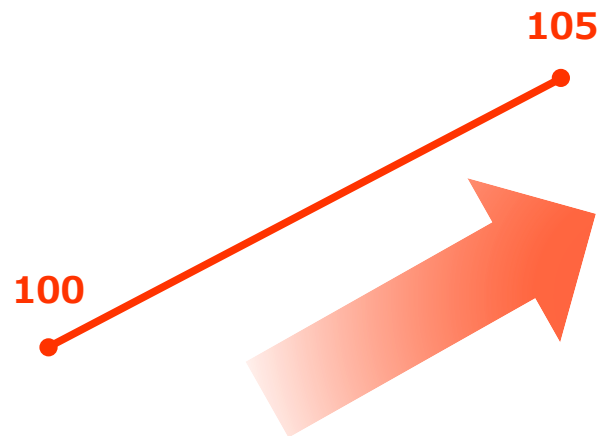
## ➤ 生産工程 (※) の職業



(※) 生産設備制御・監視の職業（金属除く）、生産設備制御・監視の職業（機械組立）、金属材料製造、金属加工、金属溶接・溶断の職業、製品製造・加工処理の職業（金属除く）、機械組立の職業、機械整備・修理の職業、製品検査の職業（金属）、製品検査の職業（金属除く）、機械検査の職業、生産関連・生産類似の職業

- ✓ 工場ワークスの応募数は前年同期比105%と堅調
- ✓ CPAは同73%と良化しており、効果的な応募獲得を実現

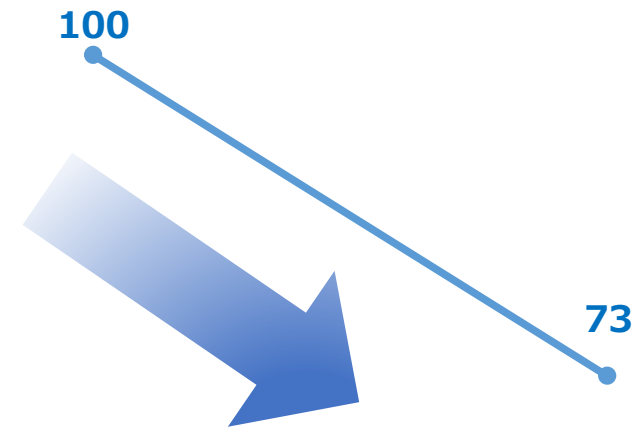
### ➤ 工場ワークス 応募数 (FY2018 3Q累計を100とした場合)



FY2018\_3Q累計

FY2019\_3Q累計

### ➤ 工場ワークス CPA<sup>(※)</sup> (FY2018 3Q累計を100とした場合)



(※) CPA : Cost Per Acquisition

FY2018\_3Q累計

FY2019\_3Q累計

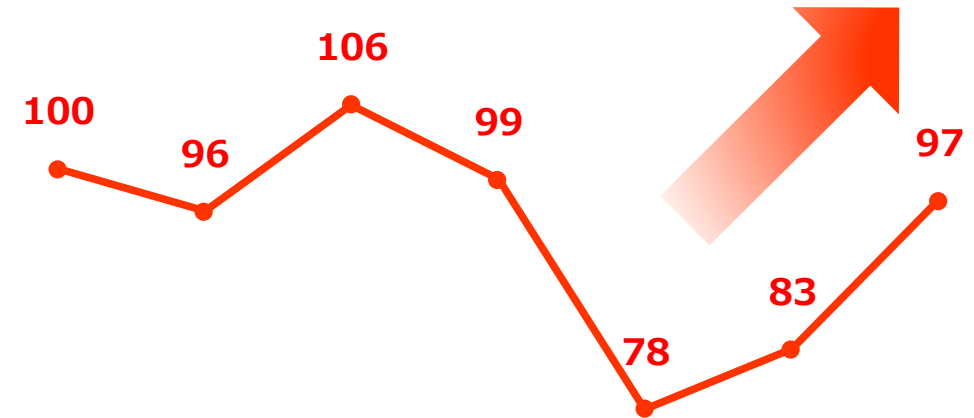
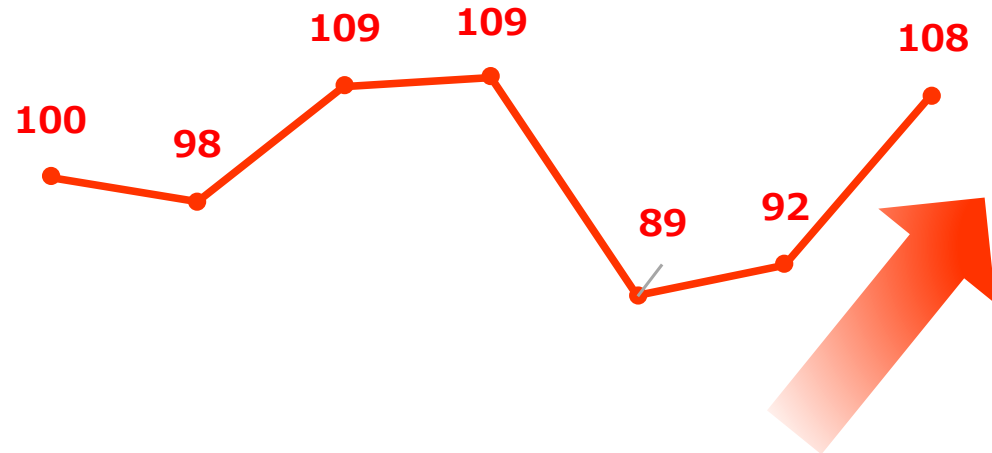
# 工場ワークスとしての媒体地力は高まっている

✓ 減収減益ではあるが、競争が激化する市場の下でも生産性（1人あたり成約金額・1人あたり成約件数）は前年同期並みに回復

単位：百万円		FY2018_3Q累計	FY2019_3Q累計	増減額	前年同期比
人材紹介事業	売上高	787	693	△ 93	88.2%
	営業利益	66	22	△ 44	33.8%

➤ 1人あたり成約金額 (FY2018 1Qを100とした場合)

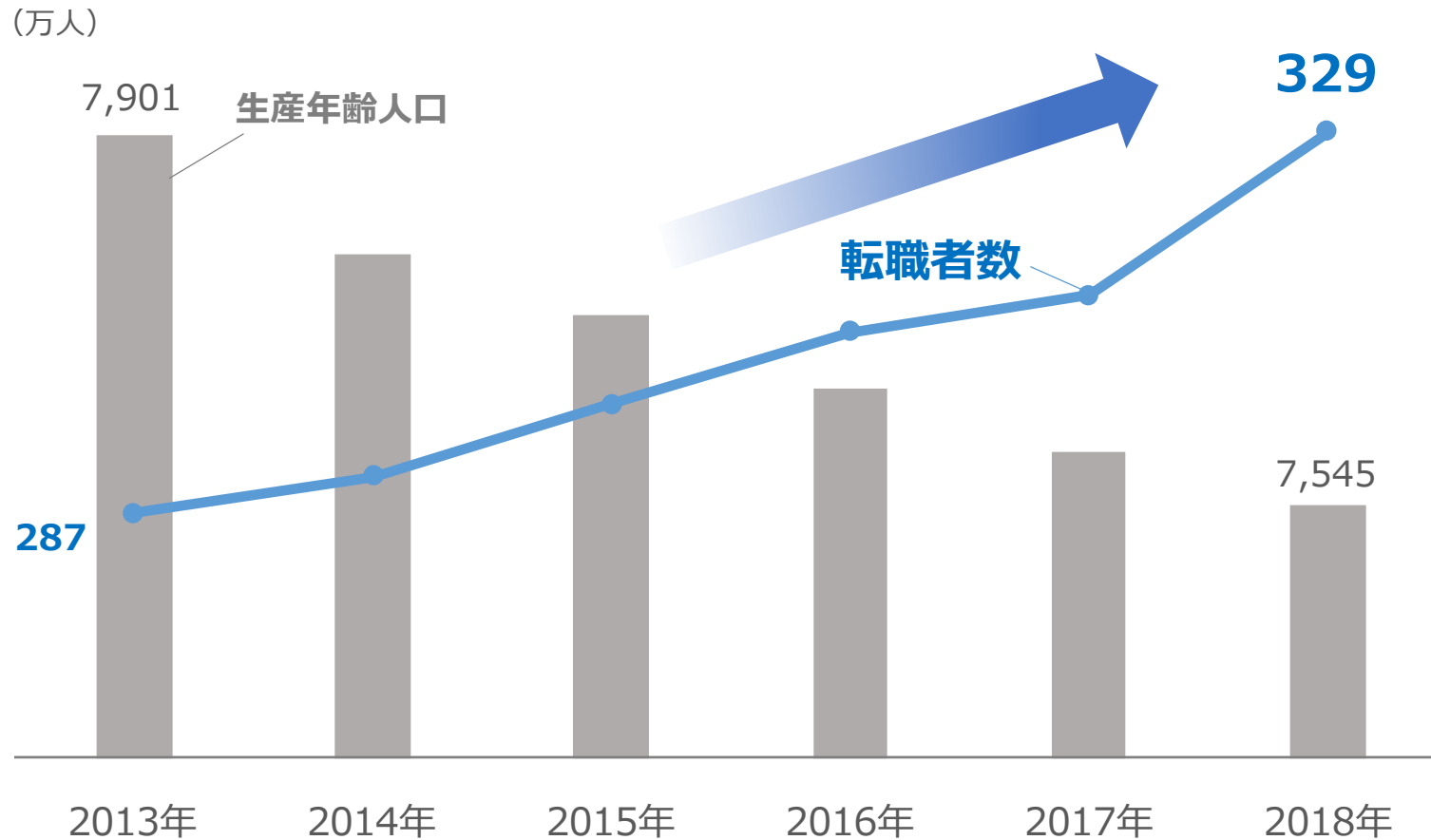
➤ 1人あたり成約件数 (FY2018 1Qを100とした場合)



1Q	2Q	3Q	4Q
FY2018			
1Q	2Q	3Q	
FY2019			

1Q	2Q	3Q	4Q
FY2018			
1Q	2Q	3Q	
FY2019			

✓ 生産年齢人口が減少する一方で、転職者数が増加



**転職志向が高まり、  
市場は拡大**

- ✓ 営業損失は前年同期比で36百万円改善し、△57百万円
- ✓ 前期の構造改革の成果により、着実に体質改善が進行

単位：百万円		FY2018_3Q累計	FY2019_3Q累計	増減額	前年同期比
採用支援事業	売上高	649	584	△ 64	90.1%
	営業利益	△ 93	△ 57	36	-

### ➤ 構造改革による体質改善

売上高は減少しながらも、**売上総利益は前年同期比+9.9%**

	FY2018_3Q累計		FY2019_3Q累計		増減額	増減率
	実績	売上比	実績	売上比		
売上高	649	-	584	-	△ 65	△ 9.9%
売上総利益	<b>268</b>	<b>41.3%</b>	<b>294</b>	<b>50.4%</b>	<b>+ 27</b>	<b>+ 9.9%</b>

1

2020年3月期 第3四半期 業績概要

2

2020年3月期 第3四半期 セグメント別概況

3

2020年3月期 通期見通し

4

Appendix

## 連結

- ✓ 2019年9月20日に公表した「連結業績予想の修正に関するお知らせ」に比して大幅な乖離は無いものと認識
- ✓ 修正後の計画に沿って各種施策による業績の回復を図る

## M&S事業

- ✓ 新基盤（システムプラットフォーム）への開発投資、名古屋拠点の開設、ドライバーワークスのサービスイン等、持続的成長のための戦略投資を引き続き行いつつも、適宜適切な費用投下により利益率の改善を図る

## 人材紹介事業

- ✓ 組織体制の見直し等により、3Qまでに1人あたり成約金額・1人あたり成約件数は前年同期比並みに回復
- ✓ 4Qにおいても引き続き、生産性向上による利益率の改善を図る

## 採用支援事業

- ✓ 引き続き収益性の高い案件の受注活動、およびコストコントロールを継続し、利益率の改善を図る

1

2020年3月期 上期 業績概要

2

2020年3月期 上期 セグメント別概況

3

2020年3月期 第3四半期の状況

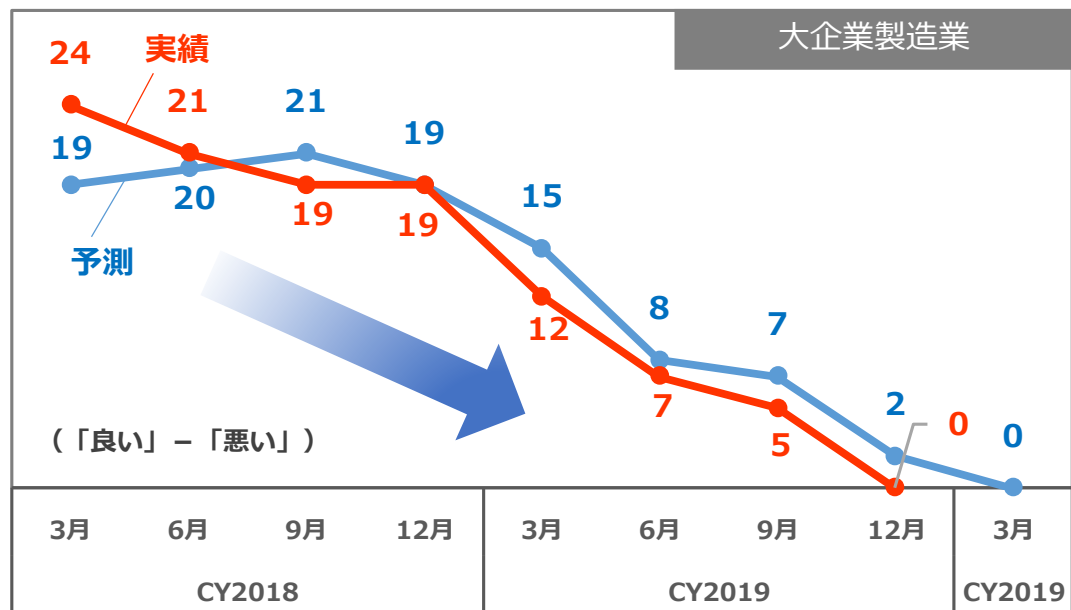
4

Appendix



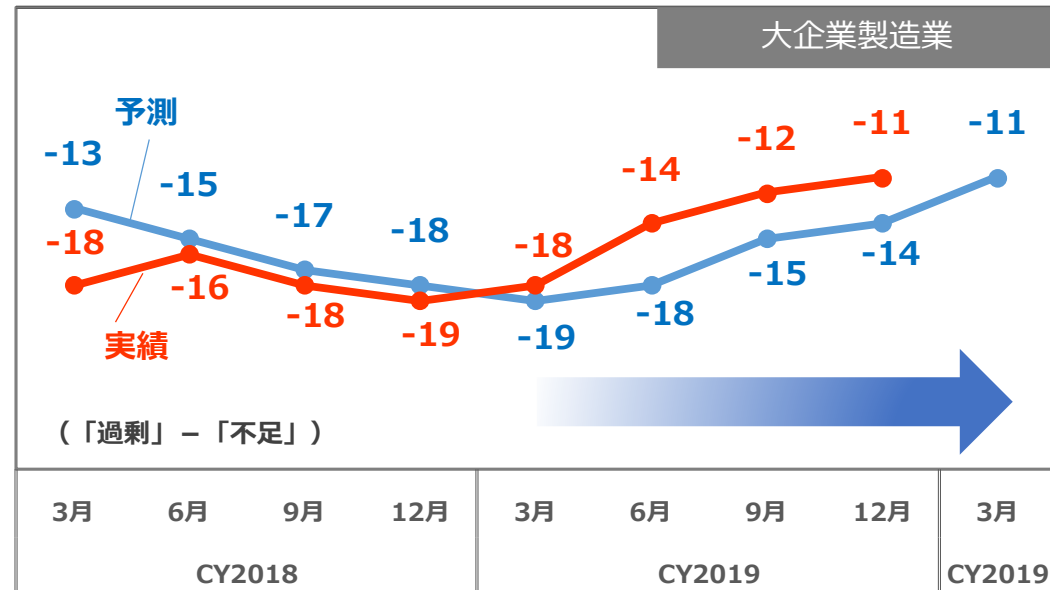
✓ 業況は悪化しているものの、依然として雇用人員の不足感は継続

## ➤ 業況判断DI



回答企業の収益を中心とした、業況についての全般的な判断  
 <選択肢> 「1. 良い」、「2. さほど良くない」、「3. 悪い」

## ➤ 雇用人員判断DI



回答企業の雇用人員の過不足についての判断。  
 <選択肢> 「1. 過剰」、「2. 適正」、「3. 不足」

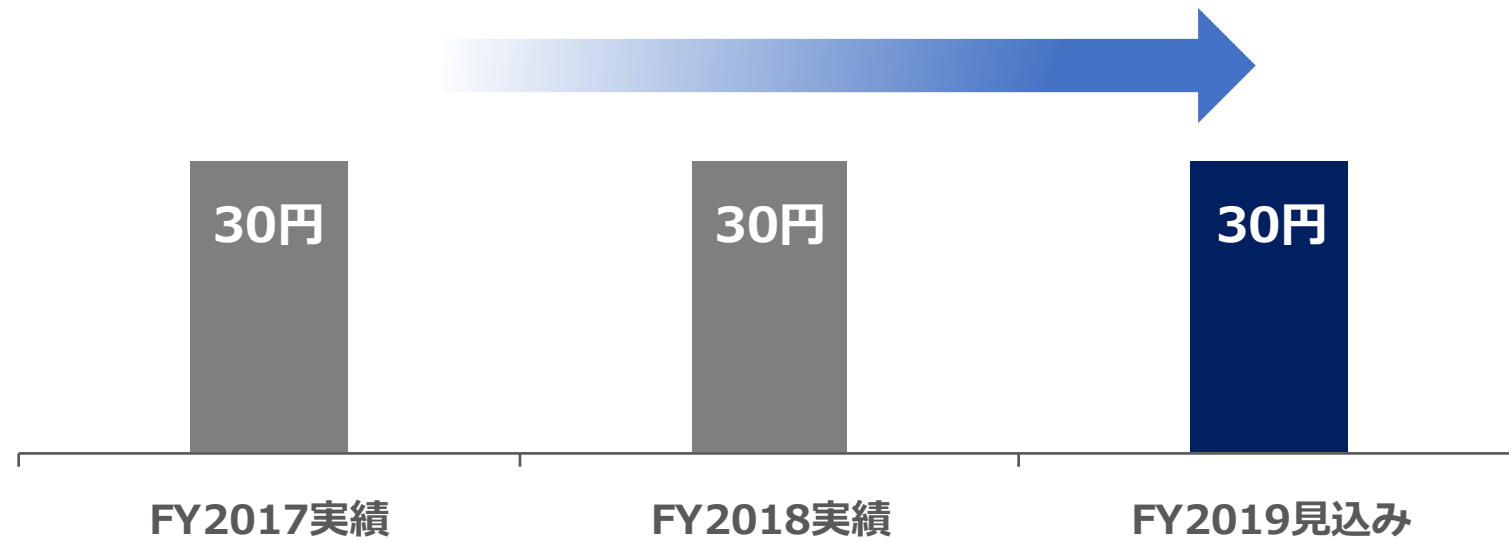
✓ 自己資本比率92.1%と財務基盤は安定

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)		当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)		増減額
	実績	構成比	実績	構成比	
資産	3,254	100.0%	2,626	100.0%	△ 628
流動資産	2,665	81.9%	1,957	74.5%	△ 708
現金及び預金	2,066	63.5%	1,522	58.0%	△ 543
固定資産	589	18.1%	668	25.5%	79
負債	502	15.4%	207	7.9%	△ 294
流動負債	496	15.3%	202	7.7%	△ 293
固定負債	5	0.2%	5	0.2%	0
純資産	2,752	84.6%	2,418	92.1%	△ 333
自己資本比率	-	84.6%	-	92.1%	+ 7.5pt

✓ 配当金30円00銭予想を維持

<1株あたり配当額>



この資料は、株式会社インターワークス（以下、当社）の現状をご理解頂くことを目的として、2020年02月03日現在において当社が取得可能な情報に基づき作成したものです。

本資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。また、本資料にはいわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測、及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招きうる不確実性を含んでおります。それらのリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場環境、金利、通貨・為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報や将来にリスクイベントが発生した場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

以上を踏まえ、投資を行う際は、投資家の皆様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。